

教員用 授業の流れ

- 1 授業実施場所・時間
別紙参照
- 2 生徒の持ち物
前回までのワークシート
- 3 教員の準備するもの
教育系タブレット・プロジェクター・スクリーン ※新たなワークシートを生徒に配布

4 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導 入	5分	前回までの振り返り・本時の目的 ・前回まで「高知県は人口当たりの入院者数がなぜ他の都道府県に比べて多いのか？」というテーマに対して研究してきた。 ・実際に研究を行ったが、その内容ややり方でよかったのか、検証しよう。	・3回連続の3回目です。本時はこれまでの研究活動を振り返り、やり方、内容、結果の検証を行います。 ・ <u>批判的な思考を働かせ、「なぜ?」「本当にそう言えるのか?」を大切にして取り組んでほしい。</u>
展 開	10分	1 仮説と調査方法の検討 実際に出てきた仮説と調査方法を見て、内容の検討を行う。 不適切と思われる箇所については、修正案を考える。	研究テーマに対して、 【仮説】 ・一般的に考えて矛盾していないか ・研究テーマに沿った仮説になっているか 【調査方法】 ・そのデータで仮説が検証できるのか ・信頼できるソースを使っているか
	10分	2 考察の検討 仮説と調査内容を踏まえて、考察の検討を行う。 不適切と思われる箇所については、修正案を考える。	【考察】 ・調査の内容を踏まえているか ・研究テーマに沿った考察になっているか ・未確認の情報（勝手な想像やイメージ）が入っていないか
	20分	3 調査の検討 前回と違うペアを作る。相手の仮説と調査方法、考察を聞き、検討を行う。	・小さなことでも、疑問に思ったことがあれば尋ねる（それが不足している点ということ）。 ・時間があれば、元のペアで、指摘された点を共有する。
ま と め	5分	4 振り返り この3回の授業で、仮説の立て方、調査の行い方、考察の考え方を学んできた。 RESAS等の公的なデータを使うことで、研究の信頼度が増し、より良い課題研究を行うことができる。 仮説や考察は、理系の研究でも必要になるので、今回やった内容を来年以降の研究に活かしてほしい。	・文系の課題研究は、「自分の興味関心×社会が抱える課題」で考えることが大切。自分が調査した内容を <u>社会</u> で生かしていく方法を考えよう。